

10 特別支援学級等の設置状況

(R4. 5. 1現在 特別支援教育課調)

小・中・特別 障害別	学級数 〔前年度比増減〕	児童数 生徒数	担任 教員数	学級数別学校数					
				1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級
合計	2,774 (164)	13,723	2,782	1,242	496	126	34	4	1
小計	1,925 (110)	9,549	1,926	835	344	92	25	4	1
知的	967 (38)	5,059	967	380	186	51	13	2	—
肢体不自由	8 (3)	12	8	8	—	—	—	—	—
病弱・虚弱	7 (—)	8	7	7	—	—	—	—	—
弱視	3 (1)	6	3	3	—	—	—	—	—
難聴	18 (2)	41	18	18	—	—	—	—	—
言葉	13 (—)	29	13	13	—	—	—	—	—
自閉症・情緒	909 (72)	4,394	910	406	158	41	12	2	1
中計	849 (54)	4,174	856	407	152	34	9	—	—
知的	439 (25)	2,239	439	198	90	15	4	—	—
肢体不自由	3 (2)	3	3	3	—	—	—	—	—
病弱・虚弱	5 (—)	3	5	5	—	—	—	—	—
弱視	— (—)	—	—	—	—	—	—	—	—
難聴	3 (—)	5	3	3	—	—	—	—	—
言葉	— (—)	—	—	—	—	—	—	—	—
自閉症・情緒	399 (29)	1,924	406	198	62	19	5	—	—

(通級指導教室) 教室数は担当教員数と巡回による指導を行っている教室数、特別支援学級で通級による指導を行っている教室数及びサテライト教室を加えた数

教室数	児童数 生徒数	担当 教員数	教室数別学校数							
			1教室	2教室	3教室	4教室	5教室	6教室	7教室	8教室
736 (—13)	7,430	533	456	91	25	3	1	1	—	—

注・() 内数字、前年度比増減示。

・義務教育学校は、児童生徒合わせて1教室1担当。

・言語395教室
・情緒57教室
・難聴34教室
・弱視14教室
・LD, ADHD158教室
・肢体不自由75教室
・病弱3教室

11 公立学校の施設

(1) 建物・運動場保有状況

(校)舎保有面積のうち、木造及び鉄骨その他造は鉄筋コンクリート造に換算した面積である。なお、危険面積は、耐力度点数が非木造5,000点(H20. 4. 1～4, 500点)以下、木造5,500点以下の面積とする。)

保有面積・・・当該学校の建物の面積から、「借用面積」、「一時使用面積」及び「未取壊し面積」を除き、「国庫負担等未完成面積」を加えたもの

必要面積・・・国庫補助を行う上限面積であり、当該学校の学級数に応ずる面積

整備資格面積・・・必要面積から保有面積を控除した面積

危険面積・・・耐力度点数が、一定基準以下の建物の面積

ア 幼稚園

(R4. 5. 1現在 財務課・教育施設課調)

区分	保有面積		必要整備資格面積		危険面積	
	面積	構造比率	面積	面積	(要改築面積)	面積
	m ²	%	m ²	m ²		m ²
園	計	112,417	100	72,111	5,111	(—)
舎	木造	19,967	18	—	—	—
	鉄筋コンクリート造	66,863	59	—	—	—
	鉄骨その他造	25,587	23	—	—	—
屋外運動場	153,672	—	—	—	—	—